

○異年齢の関わりについて

「藍東学園」説明会では、異年齢の関わりについての質問もありました。異年齢の関わりが多くなるとどうなるかについては、開校して3カ月経った、岐阜市立初の義務教育学校「藍川北学園」の様子を通してお伝えします。



上の写真は登下校の様子です。児童（前期課程）と生徒（後期課程）と一緒に歩いて登校する姿が多くなっています。地域の見守り隊の方からは「下を向いて歩く子どもが減った。」「明るくなった。」という声をいただいています。

休み時間のコマ



異年齢で集まり、みんなで歌って踊って

休み時間のコマ



教室以外にも居場所がたくさん

上の写真のように、休み時間には、8年生が3年生と一緒に遊具で遊びながら頑張っている後輩を応援している景色が見られます。

藍川北学園を訪問された方から「中学生の表情が穏やかですね。」という声を多く聞いています。

異年齢の関わりが多くなることで、自然と表情が柔らかくなるのでしょうか。



上の写真は、5月に行われた運動会の様子です。その中で、高学年は今まで以上にリーダーとして頑張り、低学年はその姿を見て、自分たちも学園を創り上げていく自覚が芽生えているように感じています。

○芥見東小と藍川東中の異年齢の関わり

芥見東小と藍川東中も、小中一貫校として、これまで様々な異年齢の関わりがありました。今年度は、5月14日（水）に、小学3年生の児童と中学2年生の生徒で山田川清掃を行いました。この活動を通して、地域貢献、社会奉仕の精神を養います。また、小学生と中学生が一緒になり、地域の方々と触れ合うことで、思いやりや感謝の気持ちを育みます。小学生と中学生が手をつなぎ、故郷の川を美しくすることができました。活動後には、お礼の手紙のやりとりをし、さらに交流を深めました。義務教育学校になることで、日常的な異年齢活動がさらに増えていきます。ご期待ください。



次号の予定

・藍東学園の新しい校章、制服等について

○藍東学園の新しい校章、制服等

今回は、藍東学園の新しい校章、制服等を紹介いたします。（制服、ジャージの着用は7年生からを予定しています。）

○校章



【モノクロ版】

校章は、芥見東小、藍川東中の児童生徒がデザイン案を作成し、投票して決まりました。

【デザイン案に込められた願いと意味】

- ・ 藍東の『藍』にちなみ、藍の花をモチーフにしたもので周りを囲いました。
- ・ 青々と茂った緑葉と小さなつぼみから花がたくさん咲き開くように、児童生徒もこの学園生活で健やかに仲間や先生と共に成長し、芽吹いてほしいという願いを込めています。
- ・ 藍は「調和」を意味する花であり、新しい挑戦をする際に贈られる花です。そんな藍の花のようにたゆまぬ努力を積み重ね、向上心を抱き続け、挑戦し続けてほしいという願いも込めています。
- ・ 中心の4つの黄緑の輪は、学校活動や地域活動により繋がっていく地域の輪を表しています。清流長良川が流れ、深緑の山々が見守ってくれている、この自然豊かな芥見の地に支えられている私たちの、地域の方々との精力的な交流、平和な共同生活を期待した藍東学園の児童生徒の目指す姿を象徴しています。

○制服(ネクタイ・リボン・エンブレム・ボタン)

制服は、制服アンケート（要・不要、学生服かブレザーか）を実施し、その後に制服のデザイン案、エンブレム・ボタン案ができ、投票をして決まりました。

藍東学園新制服



エンブレム



ボタン

○ジャージ(ハーフパンツ)

ジャージは、7月に児童生徒、保護者の投票があり、決定しました。



次号の予定

・ 藍東学園の教育展開について